

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公開番号】特開2008-200387(P2008-200387A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-41960(P2007-41960)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 8

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月15日(2010.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下する遊技領域が形成された遊技装置と、

遊技球を貯留する球受け皿と、

発射操作に基づいて遊技球を発射する遊技球発射装置と、

当該遊技球発射装置から発射された遊技球を前記遊技領域に向けて誘導する誘導部と、

前記遊技球発射装置よりも遊技球の発射方向側であって前記誘導部を逆流してくる遊技

球を回収可能な位置に回収口を有し、その回収した遊技球を前記球受け皿に向けて導く回

収通路部と、

当該回収通路部を通過する遊技球を検知する球検知手段と

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技球が流下する遊技領域が形成された遊技装置と、

遊技球を貯留する球受け皿と、

発射操作に基づいて遊技球を発射する遊技球発射装置と、

当該遊技球発射装置から発射された遊技球を前記遊技領域に向けて誘導する誘導部と、

前記遊技球発射装置よりも遊技球の発射方向側であって前記誘導部を逆流してくる遊技

球を回収可能な位置に回収口を有し、その回収した遊技球を前記球受け皿に向けて導く回

収通路部と、

当該回収通路部を通過する遊技球を検知する球検知手段と、

当該球検知手段の検知結果に基づいて前記遊技球発射装置による遊技球の発射を禁止す

る発射禁止手段と

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記回収通路部は、前記球検知手段の検知位置よりも上流側に、少なくとも1個の遊技

球が待機可能な領域を有することを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記遊技装置の遊技結果に基づいて遊技球を払い出す払出装置と、当該払出装置から払

い出された遊技球を前記球受け皿に向けて導く皿側通路部とを備えており、
前記回収通路部を、前記皿側通路部の途中位置にて合流するよう形成し、
前記球検知手段を前記回収通路部の途中位置にて当該回収通路部を流下する遊技球を検知するように設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

遊技球が流下する遊技領域が形成された遊技装置と、
発射操作に基づいて遊技球を発射する遊技球発射装置と、
当該遊技球発射装置から発射された遊技球を前記遊技領域に向けて誘導する誘導部と、
前記遊技装置の遊技結果に基づいて遊技球を払い出す払出装置と、
当該払出装置から払い出された遊技球を貯留する球受け皿と、
前記払出装置から払い出された遊技球を前記球受け皿に向けて導く払出側通路部と、
当該払出側通路部を通過する遊技球を検知する満杯検知手段と、
前記遊技球発射装置よりも遊技球の発射方向側であって前記誘導部を逆流してくる遊技球を回収可能な位置に回収口を有し、その回収した遊技球を前記球受け皿に向けて導く回収側通路部と、
当該回収側通路部を通過する遊技球を検知する回収球検知手段と、
前記満杯検知手段の検知結果に基づいて前記払出装置による遊技球の払い出しを制限するとともに、前記回収球検知手段の検知結果に基づいて前記払出装置による遊技球の払い出しを制限する払出制限手段と
を備えたことを特徴とする遊技機。